

Syllabus ID	Syl. -122525
Subject ID	Sub-122004060
更新履歴	20120315新規
授業科目名	総合英語A General English A
担当教員名	藤井数馬 FUJII Kazuma
対象クラス	電子制御工学科、物質工学科
単位数	2履修単位
必修／選択	必修
開講時期	通年(H24)
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	各HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

高専3年生までの既習事項を土台に発展的リーディング力を養うことを主目的とし、他の3技能の活動も取り入れ、総合的な英語運用能力の養成を行う。授業では、教科書の読解を中心に、音声教材や多読教材を状況に応じて使っていく。授業中は、インプットを確保するために音読や筆写を豊富に行い、なるべく多くの英語を読み聞くことを心がけ、英語の相互使用を確保するために協同学習(グループ学習)も取り入れていく。TOEIC等の外部試験対策、コアを用いた文法学習も状況に応じて取り入れていく。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高専3年生までに学習した基本的な英語語彙、文法、読解、リスニング技能

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。
---------------	--

授業目標

1. 教科書の英文を読解し、大意を把握できること。
2. 教科書の英文の音読を、なるべく正しいリズムやイントネーションや発音で行えること。
3. 音読や筆写をとおして、英語の語感や、英語を頭の中で和訳せずに英語を英語としてとらえる力が身につくこと。
4. 英語の社会における必要性を知り、英語の上達意欲を持ち、自らの意思と学習方法で英語学習に取り組む姿勢が身につくこと。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	授業の説明、テストの説明、A Family Bike Trip	
第2回	Unit 1 Chapter 2	What's in a Name?	
第3回	Unit 1 Chapter 3	The Jim Twins	
第4回	Unit 2 Chapter 1	A Peanut Butter Restaurant	
第5回	Unit 2 Chapter 2	The Tokyo Fish Market	
第6回	Unit 2 Chapter 3	A Cookie with a Surprise Inside	
第7回	復習	テスト対策、文法授業	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Unit 3 Chapter 1	テストの解説、Sending E-Cards	
第10回	Unit 3 Chapter 2	Easy Ways to Keep in Touch	
第11回	Unit 3 Chapter 3	Sending Cyber-Hugs	
第12回	Unit 4 Chapter 1	What's New?	
第13回	Unit 4 Chapter 2	A Job Change	
第14回	Unit 4 Chapter 3	A Popular Cartoonist	
第15回	文法	文法(前置詞など)復習	
第16回	復習	テスト対策	
第17回	前期末試験		×

第18回	後期オリエンテーション	テストの解説、Languages of the World	
第19回	Unit 5 Chapter 2	Hangul Day	
第20回	Unit 5 Chapter 3	Students Save Their native Language	
第21回	Unit 6 Chapter 1	Friends with Four Legs	
第22回	Unit 6 Chapter 2	A Baby Panda Gets a Name	
第23回	Unit 6 Chapter 3	A Lost Cat Comes Home	
第24回	復習	テスト対策	
第25回	後期中間試験		×
第26回	Unit 7 Chapter 1	テストの解説、A Marathon Marriage	
第27回	Unit 7 Chapter 2	Who Is Tiger Woods?	
第28回	Unit 7 Chapter 3	The "Ultimate" Game	
第29回	Unit 8 Chapter 1	Istanbul's Grand Bazaar	
第30回	Unit 8 Chapter 2	An Ice Hotel	
第31回	Unit 8 Chapter 3	Sister Cities Exchange Gifts	
第32回	文法	文法(助動詞など)復習	
第33回	復習	テスト対策	
第34回	学年末試験		×

課題

出典:教科書Unit 1 Chapter 1(3年次にプリントで指示したとおり)、その他の課題は授業内で適宜指示をする。

提出期限:最初の授業内

提出場所:各教室内

オフィスアワー:授業日の昼休みまたは放課後

評価方法と基準

評価方法:

テストについては、原則として使用テキストの既習事項について、その定着度をはかるかたちで、主としてクローズテストの形式で授業担当者が作成する。音読については、授業中に音読活動を取り入れ、誤った発音は訂正をしてフィードバックをする。評価については、定期試験の成績を80%分の成績材料とし、出席や授業中の姿勢、学習意欲、提出物、TOEIC等の外部試験の結果をすべて含み20%分の成績材料として行う。授業の様子に応じ、これらから変更がある場合は、適宜授業内で指示をする。

評価基準:

定期試験による評定80% 授業態度、出席、学習意欲、提出物、TOEIC等の外部試験など平常点20%

教科書等	Karen Blanchard and Christine Root著『For Your Information 1』(Pearson Longman) Mary Pope Osborne著『Magic Tree House 1』(Random House)、英和辞典
先修科目	総合英語A, B 英語W 英語C
関連サイトのURL	http://cocet.nime.ac.jp/ https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/anet2/
授業アンケートへの対応	授業の状況に応じ、授業進度を適時変更する。難しい英語の詰め込みではなく、しっかりと英語が身につくような授業を心がける。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。